

大山パークウェイを座標軸にした地域の魅力アッププロジェクト（鳥取県米子市・境港市・大山町・伯耆町・南部町・琴浦町・江府町・日吉津村、島根県松江市、岡山県真庭市）

「国立公園大山」を縦断し、海と高原の美しい景観が連なる美保関から蒜山間の道を「大山パークウェイ(注)」と名付け、寄り道を促す仕掛けにより点在する観光スポットをゆっくりドライブを楽しみながら周遊できる観光ルートとして再構築を図る。



平成20年度の主な取組

- ① 「大山パークウェイ」の認知度を高めるためマップやホームページ、PRビデオの制作等によりPRを実施。
- ② スタンプラリー等の周知イベントの実施と共に、観光・まちづくり関係者、市民の参加するシンポジウムを実施。
- ③ パークウェイを利用したツアー等を盛り込んだ旅行商品を民間旅行会社と開発。

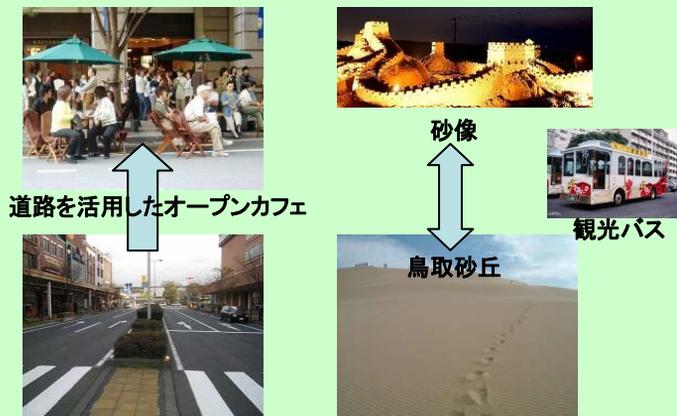
(注)「パークウェイ」は北米の国立公園等で設置されているもので「風景の素晴らしい道」の意味。

平成21年度以降の展開

統一道路標識の設置、キャンペーンの実施、旅行商品の販売、ナビゲーションシステムの導入等観光の取組や、景観保護活動グループのネットワーク化による地域の景観整備活動により大山及び周辺地域の活性化を目指す。

鳥取駅前・賑わいのまちづくり実証事業（鳥取県鳥取市）

道路空間を活用したオープンカフェやバザール市等の実証実験や街なかでの砂像展示・シャトルバスの運行等を組み合わせることによって、年間約130万人が訪れる鳥取砂丘の観光客を効果的に市内中心市街地に呼び込み、「街の顔」としてふさわしいにぎわいの回復を図る。



平成20年度の主な取組

- ① 百貨店や商店街、市民のアイデアにより、道路空間を活用するルールづくりを行うとともに、バザールや市、オープンカフェ等による集客効果の検証を行う。
- ② 鳥取砂丘から観光客を街なかへ呼び込むため、砂丘での街なか情報の発信やシャトルバスの実験運行を実施。

平成21年度以降の展開

太平洋線のトランジットモール化と道路空間活用のルールを確立し、若桜街道・智頭街道における事業化へ発展させるとともに、観光地や生産地域との交流促進による街なかの賑わい創出の仕組みを確立することで、「街の顔」となる中心市街地の活性化を実現する。

隠岐の里山・里海再生を核とした環境産業及び定住・交流促進プロジェクト (島根県隠岐の島町)

里山から出る間伐材や小径木の未利用材や里海に大量に漂着する海藻類を資源として有効利用するためのバイオマス化やストーブ・ボイラー等への利活用実験等により島全体の「緑のコンビナート化」(離島内での環境循環モデルの構築)を目指す。



平成20年度の主な取組

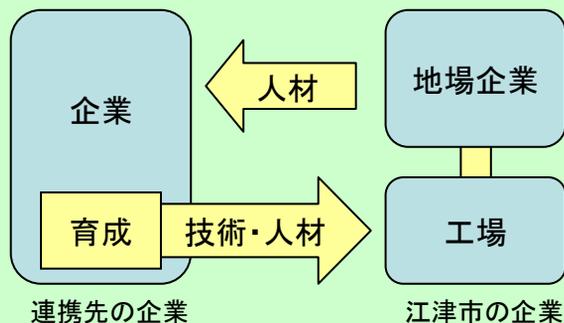
- ① 未利用材をチップ化し、公共施設等でボイラー等に利活用する社会実験等や海洋バイオマスの利用促進のための研修会を実施する。
- ② 体験交流であるエコツーリズム等の受入体制整備のための研修会や島外来訪者の植樹等を実施する。
- ③ 新たな特産加工品の開発を図り、漁師マップの作成等により、こだわり特産品の販売を促進する。

平成21年度以降の展開

木質チップ化とチップボイラー等の導入による利活用の取組や漁場環境再生実証実験等により里山・里海再生を図り、併せて田舎ツーリズム等による体験交流の促進、こだわり特産物の販売促進を行うことで、産業振興と定住・交流促進により地域経済活性化を目指す。

産業人材の還流による「内発型企业立地システム」の構築 ~ごうつモデル~ (島根県江津市)

従来型の企業誘致ではなく、江津市内企業から都市部の企業に積極的に人材を送り込み、送り込まれた人材が技術を携えて江津市にUターン(産業人材の還流)し、企業の立地に貢献することによって、市外からの移住促進、雇用の創出、経済の活性化を図る新たな企業誘致モデルを構築する。



平成20年度の主な取組

- ① 県外企業へ市内企業の人材を期限付きで送り込み、人件費負担、研修期間、福利厚生等の課題整理、契約モデル作成、技能習得の検証、カリキュラムの作成等を行う。
- ② 教育機関連携に向けた課題整理と共同事業の検討、産学官連携シンポジウム開催。
- ③ 人材・技術・企業・情報等の資源を集約した「まちナビ・コンシェルジェ」の設置

平成21年度以降の展開

県外企業への人材研修を実践的に試行し、システム確立に向けた検証を行う。更に、教育機関の連携事業により、地域に根ざす人的資源や知的資源の活用方策を探ると共に、人材研修との連動や新事業の創出を目指す。

吉備野 古(いにしえ)ツーリズムプロジェクト (岡山県総社市)

通過型観光客が多く、地域経済への波及効果が十分でない現状を、多様な地域主体が連携して、地域の伝統的な食材やこれまでにない寺社泊等の体験交流プログラムを考案することにより、外部からの集客性や滞在時間を高め、元気な地域として再生する。



平成20年度の主な取組

- ① 地域の伝統的食材の調査・栽培または食材を使用したレシピの考案や、伝統的素材をいかした特産品の開発及びデザインの考案を行う。
- ② 体験交流プログラムの開発やガイド人材の育成を行うとともに、地域の歴史を感じさせる民泊、寺社泊等の宿泊モデルの調査、実証を行う。

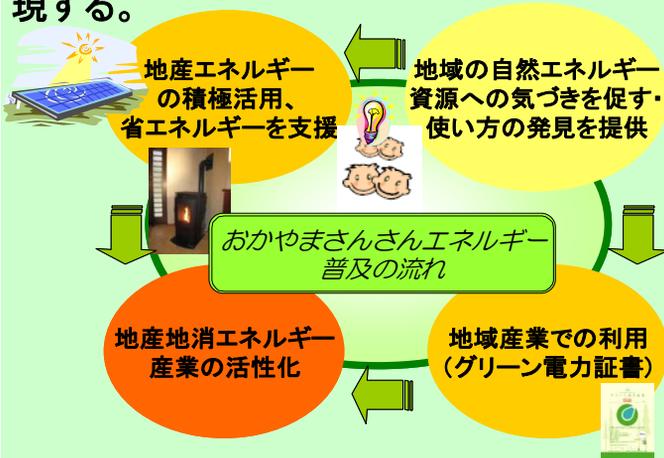
平成21年度以降の展開

地域資源を活かした特産品の販売や体験型宿泊プログラムの事業化を行うとともに、事業の担い手となる人材の育成体制を確立することで、多彩な集客交流サービスやものづくり等を行うコミュニティビジネスが活発に起こる仕組みを作り、持続的に成長する元気な地域にする。

おかやまさんさんエネルギー増殖プロジェクト

(岡山県備前市、岡山市、瀬戸内市、和気町)

全国有数の日照条件を誇る「晴れの国岡山」の特徴を活かし、太陽光や木質ペレット等の地域の自然エネルギー(地産エネルギー)の家庭や企業での利用を促進するとともに、地域ぐるみで地産エネルギー関連産業の振興を図り、エネルギー地産地消型社会を実現する。



平成20年度の主な取組

- ① 市民向けの地産エネルギー設備お試し貸出や省エネルギー導入相談などを行うとともに、市民自らが地産エネルギーの活用に主体的に取り組む「おかやまさんさんエネルギークラブ」を結成する。
- ② 地産グリーン電力証書付き製品の開発・販売促進等により、地産エネルギーによる産業振興や域内経済循環を図る。

平成21年度以降の展開

市民主体のクラブを家庭から事業所にも広げエネルギーの地消を進め、地域の自然エネルギーに関連する企業等との連携による地産エネルギーの産業化を推進することで、岡山県東南部における地産エネルギー産業クラスターの形成を推進する。

「神楽」と「どぶろく」「荒廃耕地」など中山間地ならではの地域資源を活用し北広島町に元気な世代(アクティブシニア)が集まる集客交流サービス事業の創出(広島県北広島町)

広島市内から車で約40分でスキーが楽しめる地の利と人口当り団員数日本一の「神楽」の町の地域資源を活かし、原爆ドーム等を訪れる外国人を対象にしたインバウンド型観光と、遊休農地を活用した広島市内のシニア層を対象にしたウィークエンドファーム等、ターゲットに応じた複合的な集客戦略による観光振興を図る。

神楽



農業交流



北広島町のスキー場



特産食品

平成20年度の主な取組

- ① 広島市内の観光客を対象に神楽鑑賞シアターレストランの実証実験を行うとともに、台湾等からスキー体験を含む教育旅行を誘致する可能性調査や里山セラピーの体験宿泊を実施。
- ② 町内産食材や特産品を提供するエリアフードシステムの構築及び名物メニューの開発。

平成21年度以降の展開

古民家を活用した「神楽殿」を整備し営業開始するとともに温泉と荒廃耕作地でのウィークエンドファームの実施による集客を実現し、エリアフードシステムの構築により交流客へ提供する食材の町内比率を70%に高めることで、元気が出るまちづくり事業を展開する。

庄原市民、NPO、行政との協働による、「さとやま(里山)文化」を活かした元気再生事業(広島県庄原市)

里山の“元気で世話好きなおばちゃん達”を地域資源として光をあて、地域活性化のリーダーとして組織化するとともに、里山の環境にやさしいライフスタイルや生活の知恵を都市の親子等が学び体験する、新たな都市・農村交流のモデルを構築する。



里山地域の風景



お寺での食事会

平成20年度の主な取組

- ① 里山の世話好きおばちゃん達の知識・経験を活かした地域活性化を行うため、地域の牽引役となるリーダーを組織化する。
- ② 里山地域を見て、体験、味わい、学習する事業を行い都市と農山村の関わりや共生について考えるツアーの実施
- ③ 集落と新住民とのマッチングを行う集落内での「里山暮らし」お試し体験事業の実施。

平成21年度以降の展開

里山暮らしお試し体験事業や空き家提供事業等による、市域を越えた都市と農山村の共生型観光産業化の展開により、人が元気に輝き住民が地域に誇りを感じることができる循環型地域の形成を目指す。

「感性価値クリエイター」を核とした新商品創出プロジェクトと次世代クリエイター育成プロジェクトとの融合化による、「広島発」官民一体型の戦略的地域モデル事業（広島県広島市）

デザインなどの点で競争力の弱い中山間地域の産品を都市部の若手クリエイターと結びつけることで洗練された商品とするなど、都市部と周辺地域が連携して戦略的に商品開発等を行うビジネスモデルの確立を目指す。

「成功報酬型」モノづくりプロジェクト



平成20年度の主な取組

- ① 中山間地域産品の商品開発から販路開拓までを若手クリエイターが一貫して遂行する「成功報酬型」モノづくりプロジェクトの構築。
- ② クリエイティブ系会社と提携し、若者をOJTで長期間受入れ輩出する「弟子入り型」即戦力育成プロジェクトの構築。
- ③ ①②の取組みを有機的に展開するための「創発的集積地」のモデルスペース公開実験の実施。

平成21年度以降の展開

「働く人」や「企業」に必要な場を備えた創発的集積地を実現し、「新商品を生み出す」「即戦力ある若手クリエイターを育む」仕組づくりと、全国、世界へと情報発信・交流する「ビジネスコミュニティ」を形成することで、民間主導で事業活動を誘発して活力ある広島経済の創造を目指す。

相互物流と交流による中心市街地と中山間地域の元気づくりプロジェクト（山口県岩国市）

集落を走るコミュニティバス等と第3セクター鉄道を連携する仕組みを構築することで、中山間地域の農産物を岩国市内で販売するコンパクトマーケットの構築や新たなツーリズムシステムの構築等を通じて、地域の活性化を図る。



平成20年度の主な取組

- ① 中山間地域で生産される少量多品種農産物を中心市街地に集出荷する物流システムやマーケットの実証実験を行い、高齢農家にプラス5万円の「小さな経済」の創出を目指す。
- ② 清流「錦川」の流域に沿って、農山村の生活・産業・文化を体験するツーリズムの展開とシンボルイベントとして「いわくに鍋ものがたり」を開催。
- ③ 中心市街地に周辺農産物等のアンテナショップと中山間地域居住者の利便を図るコンソルジェセンター、周辺観光のためのツーリズムセンターを開設。

平成21年度以降の展開

平成20年度の実験により構築された各組織を安定的な事業運営ができる組織へ発展させるとともに、「農産物等相互物流システム」「地域デマンド交通」「交流プログラム」の運用を開始し、この取り組みが、総合的に地域の活性化へ繋がるようにする。